

平成21年5月15日

各位

上場会社名 第一交通産業株式会社
 代表者 代表取締役社長 田中亮一郎
 (コード番号 9035)
 問合せ先責任者 取締役経理部長 垂水繁幸
 (TEL 093-511-8840)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 87,600 | 3,300 | 3,000 | 1,840 | 94.11 |
| 今回発表予想(B) | 83,100 | 3,130 | 2,450 | 950 | 48.58 |
| 増減額(B-A) | 4,500 | 170 | 550 | 890 | |
| 増減率(%) | 5.1 | 5.2 | 18.3 | 48.4 | |
| (ご参考)前期実績 (平成20年3月期) | 92,084 | 5,495 | 5,227 | 1,247 | 63.80 |

修正の理由

売上高につきましては、主に、タクシー事業では景気後退局面において業界の全国的な輸送人員の減少により、不動産事業ではマンション販売が、自動車関連事業では外車販売(BMW車・MINI車)が国内景気の停滞感により消費者の購買意欲の後退により、前回の予想を下回る見込みとなりました。また、当期純利益では特別損失に不動産事業における共同事業計画の中止(東京都・熊本市)並びに会計基準の変更に伴う販売用不動産等の評価損947百万円を計上(当期における販売用不動産評価損の合計は、1,323百万円)したことにより、前回の予想を下回る見込みとなりました。なお、繰延税金資産の回収可能性について厳密な検討を行い、回収の確実性が低いものについては取り崩しを実施しております。

(注)業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上